

かけはし

第68号 平成17年3月17日発行
千代田区教育委員会
<http://kyoiku.city.chiyoda.tokyo.jp/>



▲中山成彬文部科学大臣が番町小学校5年1組の授業を見学 -2月8日-

主な記事

- ☆ 平成17年度教育目標
- ☆ 一橋、今川、練成の3中学校が
神田一橋中学校に
- ☆ 九段中学教育学校のカリキュラム
- ☆ 夢の課外授業
- ☆ 3学期のできごと

中山文部科学大臣が、学校現場の意見を義務教育改革に生かす「スクールミーティング」で、番町小学校を視察。5年1組の総合的学習授業を見学された後、教職員と意見交換を行いました。

ISO14001 認証取得

千代田区役所

 R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

平成17年度 千代田区教育委員会教育目標の概要

「教育目標」

教育は、常に、普遍的でしかも個人的な文化の創造と豊かな社会の形成に貢献することを期すとともに、社会の変化に対応して、絶えずそのあり方を見直しながら行われなければならない。このような考えに立ち、千代田区教育委員会は、教育基本法に則り、千代田区の教育の歴史と伝統を踏まえ、我が国の歴史や文化を継承・発展させる

千代田区教育委員会は、「千代田区新世紀構想」に示された基本理念である「都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち千代田」の実現を目指し、未来を担う子どもたちに対して以下に示した人間像の育成に向けて教育を推進する。

- 社会規範を身に付け、社会に貢献しようとする人間
 - 個性を磨き、生涯を通じて学ぶ意欲と創造力をもった人間
 - 豊かな心を備え、国際社会で活躍できる人間
- また、学校教育及び社会教育を充実し、誰もが生涯を通じて主体的に学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図るとともに、受け継がれてきた伝統文化を育てながら、千代田らしい新たな文化の創出に努める。
- そして、教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行われなければならないとの認識に立って、千代田区に住み、働き、学び、集う、すべての人々が教育に参加することを旨とする。

ことのできる、心身ともに健康で人間性豊かな区民の育成を願い、教育を推進する。

そこで、以下の「教育目標」に基づき、将来を担う人材の育成をすること、区民が千代田に誇りと愛着をもち、学習とスポーツ活動を通じて、生涯にわたり生きがいのある社会生活を営むことができるよう、積極的に教育行政を推進していく。

千代田区教育委員会の基本方針

千代田区教育委員会は、「教育目標」を達成するために、以下の「基本方針」及び施策の方向に基づき、千代田区に住み、働き、学び、集う100万人の人々や企業等、すべての人々と連携・協働して、総合的に教育施策を推進する。

●基本方針1 人権尊重の精神と社会性を はぐくむ教育の推進

すべての大人、子どもが人権尊重の理念を正しく理解するとともに、他人を思いやる心や規範意識、社会生活のルールを守るなどの社会性をはぐくむことが重要である。

そのため、すべての学校教育活動を通して人権教育及び心の教育を充実させるとともに、社会性・公共の精神をはぐくむ教育を推進する。



●基本方針2 個性と創造力を伸ばす 教育の推進

生涯を通じて自ら学び、自ら考え、自ら行動して、創造的に自己実現を図り、充実した生き方ができるようにすることが重要である。

そのため、基礎的な学力をはじめ、探究心や発想力、創造力など幅広い学力を高める教育、「知・徳・体のバランス良い発達」を目指す教育を推進する。あわせて、生きる力をはぐくむ教育活動の基盤として特色ある学校づくりを推進する。



神田地区の3中学校が 「神田一橋中学校」に

4月
スタート

4月から一橋、今川、練成中学校が対等統合し「神田一橋中学校」としてスタートします。

この1年間、3校の生徒や教職員の間で様々な交流活動を行い着々と開校準備に取り組んできました。

神田地区3校とも地域に支えられ発展してきた歴史と、長年にわたって培われた60年近い伝統を持っており、これからも関係者の皆さまの様々な思いを繋げてまいります。

また「神田一橋中学校」を、地域に開かれた教育活動・情報教育特別推進校として指定し特色化を図り、「学びたい・学ばせたい中学校」として生徒・保護者に選ばれる学校づくりを推進させます。

一情報教育

- ① ITを活用した学力向上―授業におけるコンピュータの積極的活用、インターネット配信教材を利用した授業等を行います。
- ② 情報専門のNPOと連携した、著作権や個人情報保護等の情報モラル教育を行います。
- ③ 総合的な学習の時間に位置づけて、

コンピュータを自在に活用できるまでのスキルを身に付けます。

- ④ コンピュータを活用したプレゼンテーション能力の向上に取り組みます。

「確かな学力の育成」

- ① 少人数指導・習熟度別学習の充実
- ② 達成度調査とそれに基づいた授業改善を行います。
- ③ 学生ボランティアによる授業の指導補助や土曜日に、学力パワーアップ教室を行います。

問合せ 学校施設課

電話 (5211) 4337



●基本方針3 国際化、情報化社会に 対応する教育の推進

国際社会にあって、日本人としての教養と誇りを持ち、世界の人々と積極的に対話し、世界を舞台に行動できる人材の育成が必要である。

そのため、国際理解教育をより一層充実し、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育てる教育を推進するとともに、情報教育や環境教育の推進を図る。



●基本方針4 「生涯を通じた学習」と 「文化・スポーツ」の振興

人生80年時代となり、自由時間の増加や教育水準の向上が、価値観の多様化を生み、自己実現への意欲の高まりと個性を伸ばす生涯学習への需要を喚起している。

●基本方針5 区民の教育への参加と 学校運営の充実

そのため、人々が生涯にわたり充実した生活をおくり、自己実現を図るよう、さまざまな学習機会を通じて、自ら学び、文化やスポーツに親しむ活動を推進する。



家庭・学校・地域の協働を通して、都心千代田にふさわしい魅力ある教育環境づくりが求められている。そのため、大学や企業・NPO等との緊密な連携・協力のもとに、地域に根ざし区民の期待に応えられる、開かれた学校運営を重視した教育行政を展開する。



— 九段中等教育学校のカリキュラム —

千代田区立九段中等教育学校の基本カリキュラムができました。

6年間を生徒の発達段階によって2年ごとの基礎学力養成期、充実期、発展期の3段階に分けました。基礎学力養成期では学びの習慣を身に付け、充実期ではほんものに触れる多くの体験を通して自己の進路意識を高め、そして発展期では進路実現を可能にすることを目指していきます。

教育課程（案）

学年 単位	基礎学力養成期		充実期		発展期					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年				
1	国語	国語	国語	国語総合	現代文	現代文				
2					社会	社会	世界史B	日本史B	古典	政治経済
3									倫理	
4										
5										
6	数学	数学	数学	数学I	数学II	体育				
7						保健				
8	理科	理科	理科	化学I	数学B		リーディング			
9										
10	音楽	美術	音楽	理科総合B	物理I	ライティング				
11										
12	美術	保健体育	美術	体育	生物I	家庭基礎				
13										
14	技術・家庭	技術・家庭	技術・家庭	芸術I	体育	選択科目				
15										
16	英語	英語	英語	英語I	保健	英語II				
17										
18	EA	EA	EA	OC I	ライティング	ライティング				
19										
20	道徳	道徳	道徳	情報B	LHR	LHR				
21										
22	特別活動	特別活動	特別活動	LHR	LHR	LHR				
23										
24	総合	総合	総合	総合	総合	総合				
25										
26	総合	総合	総合	総合	総合	総合				
27										
28	総合	総合	総合	総合	総合	総合				
29										
30	総合	総合	総合	総合	総合	総合				
31										

※ EA…イングリッシュ・アクティビティーズ OC I…オール・コミュニケーションI LHR…ロングホームルーム

学校行事（案）

	4	5	6	7	8	9
学 習	千代田区達成度調査		前期中間考査	夏期補習	夏期補習 英語合宿③	文化祭 英語劇 前期末考査
行 事	始業式 入学式	生徒総会 体育祭 移動教室①	学校公開週間 音楽鑑賞①	保田臨海学園① 游泳訓練(至大荘)④	経井沢高原学園② 游泳訓練(至大荘)④	防災訓練
土 曜		実力テスト	各種検定	スピーチコンテスト ディベート大会	各種検定	実力テスト



■ 次代を担うリーダーの育成

キャリア教育を推進し、未来の日本を担う強きリーダーとなる人材を育成します。具体的には、進路学習、総合学習等で企業、在外公館、官公署等、日本のトップで活躍している方々とディスカッションする機会を設けます。また、国際社会で活躍できる人間を育成するため、総合的な英語力を養います。(イングリッシュ・アクティビティーズ)

■ 土曜スタディ

土曜日は、基礎養成講座、応用講座など様々な講座を開き、生徒の要望に応えます。また、学力テストにより自己の学力診断をしたり資格取得講座(TOEIC、TOEFL、漢検等)を行い自己の進路に役立てます。さらに、学習・文化・体育活動を効果的に行います。

■ シームレスなカリキュラム

各教科・科目ごとに中学校と高等学校の重複部分を統合し、効果的なカリキュラムを編成します。前期課程においても積極的に高等学校の学習内容を扱っていきます。

■ 一人ひとりにマッチした指導

6年間を通して生徒を継続的に把握し、個性や創造性を高め、優れた才能を発見していきます。具体的には、数学・英語で習熟度別の少人数授業を行います。また、後期課程では単位制を取り入れ、生徒一人ひとりの進路希望実現に向けてきめ細かな指導をしていきます。

■ あなたの夢の実現

思考や感性、創造性が柔軟な時期に数多くの教科・科目を学び、自己の興味や才能を伸ばし、自己の可能性を広げていきます。(国公立・難関私立大学進学に対応した科目の設置)

■ 学びの基盤づくり

前期課程では国語・数学・英語の授業時数を増やし、基礎学力を早い時期から定着させます。そのうえで、後期課程では、応用力を確実に身に付けられるようにします。知識の定着だけでなく思考力や判断力、表現力等を高めます。



	10	11	12	1	2	3
学 習			後期中間考査			学年末考査
行 事	前期終業式 後期始業式 小中陸上競技大会①②③	生徒総会 短期留学② 連合文化祭②	健康教育週間		海外修学旅行⑤	卒業式 修了式 芸術鑑賞教室 雅楽教室
土 曜	各種検定	道徳授業地区公開講座①②③ 公開授業	各種検定	実力テスト	クロスカントリー④	ボランティア学習

○数字は学年

3学期 の できごと

この冬も寒さが厳しい日が続きましたが、各学校や幼稚園では、進級、卒業・卒園といった旅立ちに向けて、3学期にはどんな出来事があったのでしょうか。

その一コマを子どもたちの元気な姿とともにご覧ください。



▲お別れ遠足—3~5歳児混合で新宿御苑をグループ探検
2月17日(木) —九段幼稚園—



▲園児親子と長寿会と一緒に昔遊び「福笑い」
1月14日(金) —千代田幼稚園—



▲高齢者とのふれあい「昔遊び—紙ひこうき」
1月20日(木) —昌平幼稚園—



▲学校公開—授業(発表)見学
2月4日(金) —富士見小学校—



▲ほほえみプラザ訪問交流「よさこいソーラン」
2月14日(月) —和泉小学校—



▲餅つき会
1月14日(金) —今川中学校—

夢の課外授業 —子どもたちに生きる力と夢を—

「夢に挑戦してきた人」が小学校を訪問し講師を務める「夢の課外授業」(二十一世紀倶楽部主催)が、3校で開催されました。

今年度は、プロ野球読売巨人軍の選手をお迎えしました。

九段小 「何事も楽しく。そして、たくさん遊ぼう！」 工藤公康さん

工藤公康さんが、11月22日(月)に九段小を訪問しました。子どもたちの大きな歌声に迎えられた工藤さんは、まず子ども時代を振り返り、外でのびのびと遊ぶことと丈夫な体をつくることの大切さを語りました。

そして、九段小の先生方の構えるミットめがけて鮮やかな投球を披露、さらに子どもたちに野球の実技指導、そして6年生とはキャッチボールをしてくれました。

最後に、「何事にも前向きな気持ちで頑張れ。そうすると楽しく取り組める。」と、温かいメッセージを送ってくれました。



▲ピッチング指導をする工藤公康選手

和泉小 「素直な気持ちで努力をしよう。」 小久保裕紀さん

小久保裕紀さんが、12月13日(月)に和泉小を訪問しました。

小久保さんは、野球を始めた少年時代の思い出や、けがから復活したときの経験など、夢を実現させてきた道のりを熱く語り、「毎日少しずつ積み重ねることが大切。」「まっすぐな気持ちで目標に向かって。」と、子どもたちに呼びかけました。

その後、実技指導も行われ、あこがれの選手から楽しく丁寧なアドバイスを受けた子どもたちはうれしいひとときを過ごしました。



▲小久保裕紀選手と笑顔で記念写真

昌平小 「一生懸命さを忘れずに。」 仁志敏久さん

仁志敏久さんが、1月27日(木)に昌平小を訪問しました。

仁志さんは、父親から厳しく野球を教えられた小学生時代の思い出を振り返り、「一生懸命やるのが大事。そうすればどんなことでも上達する。」と成功へのプロセスについて語りました。

そして子どもたちにバッティングやキャッチボールについての実技指導が行われ、さらに「仲間を大切に助け合おう。」との温かくさわやかなメッセージが送られました。



▲ボールをトスする仁志敏久選手

「これ、お兄さんに教えてもらったんだ!」「また明日も来てくれるの?」…。先日、同じ学区内にある中学校との

交流で、5歳児はブンブンゴマなどを一緒に作って遊び、3・4歳児は人形劇や紙芝居を見せてもらいました。交流後の中学生の感想文に「授業時間だけでは終わらず放課後にも準備をして大変だったけど、喜んでくれたのでうれしかった」「初めはどうして良いか分からなかったけどだんだんに慣れてきて、小さい子はいかいたいと思っただ」「心温まるものが多くありました。子どもたちに話しかける表情もとても穏やかで優しく、見ているこちらまでうれしくなるようでした。

この交流に先駆けて教師間の事前打合せを十分に行えたこと、中学生が必要なことを考え準備して来てくれたことから、この活動が幼児と中学生の双方にとって有意義なものになったことに感謝しています。

少子化が進む中で、千代田区でも次世代育成支援行動計画が策定され様々な支援や具体策が示されています。

幼稚園にも、幼児教育の充実はもとより、親への支援、そして親になる前の世代への支援が求められています。

少子化の原因のひとつに、「子育ての楽しさ」より「大変さ」の方がクローズアップされ、親になることをため



互いの心をはくくむ
中学生や高校生
とのかかわり

いずみこども園長
藤原 和子

らう若者が増えている現状があります。また、きょうだいで数が減り近所で小さい子に触れる機会も少ないことから、実際に親になった時に子どもへの接し方が分からず不安感をもつ姿も多く見られます。

以前「子育てワークショップ」で、高校生の育児体験に参加したことがあります。0歳の赤ちゃんを連れた母親が保健師を交えて子育ての悩みなどを話す中に高校生も参加し、抱き方やオムツの取り替え方を教えてもらうというものです。ここに参加した高校生は前もって実際の0歳児と同じ大きさ・重さの人形で抱き方を教わっていたことから、本当に抱けるのをとても楽しみにしていたようです。「子育ては大変だけど、楽しいこともたくさんあると思います」「私も赤ちゃんが欲しいと思いました」などの感想が多くみられました。

千代田区でも夏休みを中心に、多くの高校生が幼稚園や保育園でボランティアとして活躍しています。中には次の年にも継続して来てくれる高校生がいるのもうれしいことです。

こういったかかわりが、幼児にとっても憧れや将来へのめあてをもつことになり、同時に中高生にとってもは親になる準備にも繋がる貴重な体験になっていることを実感しています。

きょういく
随想

ISO14001
内部監査を実施

1月24日(月)から2月9日(水)にかけて、校園長及び教育委員会管理職員が監査員となり、学校・園ISO活動の監査を実施しました。この監査は、自校・園で気づかない不具合な点と他校・園に参考となる良い点を明らかにし、今後の活動に生かしていくことを目的としています。

学校・園では、引き続き環境にやさしい活動として、環境教育の充実とエネルギー使用量の削減等に努めて参ります。

問合せ 教育総務課

電話 (5211) 4273

千代田区教育広報誌「かけはし」では、皆様からの声をお待ちしています。ご意見・ご感想・ご要望等をお寄せください。

次号かけはしは、5月発行予定です。

教育広報「かけはし」第六十八号
平成十七年三月十七日発行
編集発行/千代田区教育委員会
千代田区九段南一丁目6番11号
03(3)2664(2)1111 内線3111